

会 議 名	第3回狭山市協働推進委員会
開 催 日 時	令和元年10月10日(木) 10時30分～12時
会 場	狭山市役所7階 701・702会議室
出 席 者	狭山市協働推進委員 9名(欠席1名)
議 題	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 題</p> <p>(1) 令和元年度提案型協働事業の進捗状況について</p> <p>(2) 来年度の行政提案型協働事業について</p> <p>(3) その他</p> <p>3. 閉 会</p>
協議概要	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 題</p> <p>(1) 令和元年度提案型協働事業の進捗状況について</p> <p>事務局より令和元年度提案型協働事業の進捗状況について報告 (資料No. 1、資料No. 2参照)</p> <p><委員からの意見></p> <p>○各団体について、当初の計画と比較して、計画通りに進んでいるのか？ 報告書について、進捗状況及び課題等が見えるようにした方がよい。</p> <p>○提案書のスケジュールと比較できるように。報告書の記載内容について工夫をしてもらいたい。</p> <p>○各事業の資料について、チラシの添付があるものと無いものがあるので、すでにチラシが完成しているものは添付をお願いしたい。</p> <p>○「障害のある人もない人も楽しめるビリヤード教室」の様子を見に伺った。前年度に比べて参加者が増えており、また、参加されている障害のある方に笑顔が見られ、とても雰囲気の良い場となっていた。ユニバーサルスポーツ(障害の有無に関係なく、一緒に実践できるスポーツ)を先取りした事例の一つであると思う。</p> <p>(2) 来年度の行政提案型協働事業について(資料No. 3参照)</p> <p>現在、庁内の各課に対して令和2年度行政提案型協働事業のテーマを募集</p>

している状況である。また、行政提案型協働事業については、担い手として市民団体だけではなく事業者等も巻き込みながら、徐々に規模を拡大していきたいと考えている。

<委員からの意見>

○今年度の行政提案型協働事業の「第2回狭山市を魅力的にするアイデアを考えるワークショップ」に参加したが、とても楽しかった。第1回目に発明されたアイデアの具体化を行ったが、実現したいとは思いつつも“お金”について苦慮していた。協働事業で実施してもおもしろいかもしれない。

○発明されたアイデアについては、事業者が食いつくものがあるかもしれないため、広く周知した方が良いと思う。

○自分の趣味で作った作品を発表する場に参加している。市民の趣味等、隠れた才能を引き出す場があるとよいと思う。

○農業従事者の高齢化、後継者不足による耕作放棄地の増加という課題がある。賃金をもらいながら手伝い（ボランティア）ができるような仕組みができるといい。

○何をやるにしても楽しくなければ、人は集まらないと思う。いかに若い力を巻き込んでいくかが大切だと思う。

○農地の所有者の立場を考えると、企業等の“安心”できる団体が事業に絡めば、農地や農業に必要な物品の借用もできると思う。また、事業を後押しする仕組み（モデルケースの例示やクラウドファンディングの紹介など）について、市が誘導していくといい。

○アイデアを広く発信していくため、若い人を巻き込んでいくとよい。SNSを有効に活用した広報活動ができる。

○市の若手職員もワーキンググループ等を立ち上げ、取り組んでいる。シティプロモーションに力を入れて進めていきたいと思う。

○行政提案型協働事業については、市が抱えている課題をテーマとするものだが、テーマを提案する前に各課で「できない」と判断していることがあると思う。まずは協働自治推進課に相談をしていただくため、庁内各課の情報の吸い上げに力を入れてほしい。

(3) その他

地域ポータルサイト「さやマルシェ」を活用した協働に関する情報の一元

	<p>化を進めている。市民団体が今後、具体的に協議を重ね、一つのページを創りたいと考えている。</p> <p>4. 閉 会</p>
配 布 資 料	<p>第3回狭山市協働推進委員会 次第</p> <p>資料1 令和元年度提案型協働事業一覧</p> <p>資料2 令和元年度提案型協働事業実績報告書（6月～8月）</p> <p>資料3 令和2年度行政提案型協働事業募集チラシ</p> <p>追加資料 さやまるシェパンフレット</p>
事 務 局	<p>協働自治推進課長</p> <p>協働自治推進担当 主幹 主事 以上3名</p>